

取付説明書

◎手順

ノブと戸襖座を取りかえるときには、ラッチ本体も必ず取りかえてください。

1. 6か所のネジ穴を[①楊枝など]で埋め、木ネジがよく効くようにしてください。
2. [②ラッチ本体]を交換します。[③ラッチボルト]の向きをドアの開く向きに合わせてラッチ本体をドアに差し込み、[④皿木ネジ]で固定します。
3. 室内側の[⑧戸襖座]を[⑦角芯穴]に差し込みます。
4. [⑤室内側ノブ]に[⑥プラスチック角芯]を差し込んでから[⑧戸襖座]と繋げます。
5. 芯出し(下部説明を参照)を行い、ノブと戸襖ツマミを動かして、スムーズに動くことを確認しながら[⑨取付木ネジ]と[⑩取付木ネジ(黒)]でしっかりと固定します。
6. ラッチボルトに合わせて[⑪ストライク]を必要に応じて取付ければ終了です。

芯出し方法
動画はこちら



※動画内では異なる商品ですが方法は同じです。

芯出し方法 (スムーズに動く取付け)

ラッチ本体の[⑦角芯穴]の中心と戸襖座の角芯の中心が合っていないとスムーズに動きません。ノブや戸襖ツマミを動かしてスムーズに動くことを確認しながら、木ネジを交互に締め付けて座を固定してください。

ハイス シリーズ 品番：DC-2

本紙は大切に
保管してください。

この度は、当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。製品を正しく取付け・ご使用いただくために下記の注意事項をよくお読みください。

△取付上の注意

- ・本製品は一般住宅室内専用です(浴室を除く)。玄関や屋外では使用しないでください。また室内においても商業施設等、多数の方々のご利用になる場所では使用しないでください。
- ・取付けの際、電動ドライバーは使用しないでください。手回しドライバーは力の入りやすい柄の大きなプラスドライバー(2番)を使用して確実に締め付けてください。
- ・取付け前に動作確認を行う場合、指をはさむ恐れがありますので座の裏側に指を入れないようにお気をつけください。
- ・ノブを交換するときにはラッチ本体も必ず交換をしてください。

△重要 すぐにラッチ本体の取りかえが必要です！



反対側に回すと開く

開かない
通常使用時においてドアが開かず、ノブを反対側に回さないとドアが開かなくなったらすぐにラッチ本体の取りかえが必要です。そのまま使用し続けるとラッチ本体が完全に壊れて閉じ込め等の思わぬ事態につながる恐れがあります。

パッケージ内容

ノブ	…1ヶ
戸襖座	…1ヶ
ラッチ本体	…1ヶ
ストライク	…1ヶ
取付木ネジ	…4本
皿木ネジ	…4本
台紙(本紙)	…1枚

△取扱上の注意

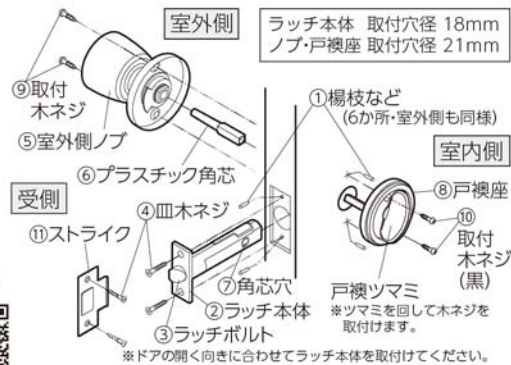
- ・乱暴な操作やドアや枠の反り等、スムーズな操作ができない状態で使用を続けしないでください。内部の部品が破損し、閉じ込め等の思わぬ事態や故障の原因になる場合があります。また製品は分解や改造をしないでください。
- ・ノブや戸襖座を取外した状態でドアが閉まるとドアを開けることができなくなりますので、ノブをはずした状態では使用しないでください。
- ・取付木ネジが緩んだ状態で使用し続けると製品本来の機能と耐久性が維持できなくなったり、故障の原因となりますので年に1回以上はネジの締め直しを行ってください。
- ・ストライクの穴に指を入れたり、触れたりしないでください。ケガをする恐れがあります。
- ・身に付けている指輪や硬質なもの、表面にキズを付けないように注意してください。またドアを開けた時にノブが壁などに当たる場合もキズが付く原因になりますので注意してください。キズは変色や腐食の原因となります。
- ・一般的なお取りかえの目安は10年です。錠は適切な施工・ご使用・お手入れをしていただいても、ご使用の環境により機能の維持には限界があります。お取りかえ目安を過ぎて使用し続けた場合、経年劣化等により錠本来の機能が損なわれ、閉じ込め等の思わぬ事態につながる恐れがありますので、定期的なお取りかえをお勧めします。(日本ロック工業会では、10年を目安にお取りかえを推奨しています。)



お手入れ
方法はこちら

表面のお手入れ方法

長くお使いいただくために、日常のメンテナンスをお願いします。詳細は左記の二次元コードをご参照ください。



非常解錠装置付

非常時には室外側ノブの穴に楊枝など細長いものを差し込み、押しながらノブを回すと解錠できます。



楊枝など細長いもの